

TOPICS

創造工学部 高尾英邦教授の研究グループがJournal of Robotics and Mechatronics 誌の「The Best Paper Award 2021」を受賞

受賞名： The Best Paper Award 2021, Journal of Robotics and Mechatronics
受賞者： 綿谷一輝、寺尾京平、下川房男、高尾英邦
授賞式は令和3年12月22日に学生会館（東京・千代田区）にて執り行われました。本論文は2021年3月に本学大学院博士後期課程を修了した綿谷一輝氏を筆頭筆者とし、高尾英邦教授が推進する科学技術振興機構戦略的創造研究推進事業CRESTの代表的成果の一つ

を報告しています。
人間の指先が持つ繊細な触覚を上回る能力を示す高性能触覚センサにより、従来は識別できなかった繊細な違いを持つ対象の手触り感を識別可能としました。現在も医学、美容、健康、介護技術の分野をはじめとする様々な共同研究を展開しており、人間の手持つ触覚の限界を超える新しいセンシング技術の創出に取り組んでいます。



授賞式（学生会館にて）

海外での有事における危機管理対応シミュレーション訓練を実施

本学における国際交流を推進する過程において発生する様々な事象に伴う危機に、迅速かつ的確に対応するための意識・知識等を高めることを目的として、令和3年12月22日、コロナウイルス感染防止のため参加者を限定し、縮小版で実施しました。
当日は、日本エマージェンシーアシスタンス株式会社から3名の講師を招き、今井田理事、真鍋理事、原副学長、長山経済学部長をはじめ、本部及び経済学部関係教職員約40

名が参加しました。
シミュレーション訓練は、欧州留学中の本学学生がドイツ・ベルリンでテロに巻き込まれた可能性があるとの想定で始まり、初期対応では、安否確認、緊急連絡網による関係職員・幹部等への連絡、被害学生保護者対応等の演習を行いました。その後、危機対策本部を設置する重大事案となり、海外現地への教職員・被害学生保護者の派遣、現地関係機関等との連携、メディア役に扮した職員による



幸町キャンパス OLIVE SQUARE 2階で実施

模擬記者会見まで、約3時間にわたり次々と入ってくる現地情報等をもとに演習を行いました。

香川大学博物館 特別展「メタセコイヤ～生きている化石～」を開催

三木町出身で、香川大学農学部の前身校である香川県立木田農林学校の卒業生でもある三木茂博士が、ヒノキ科に属するセコイヤやタクソディウム（ヌマスギ）とされてきた化石が新属であることを発見し「メタ（後の）セコイヤ」と命名してから、今年で80年になります。「生きている化石」の代表でもあるメタセコイヤの植物形態学的な特徴を解説するとともに、三木茂博士の生い立ちからメタセコイヤ化石の発見、絶滅したと思われていたメタセコイヤが世界中に普及するまでの経緯を貴重な標本と資料で紹介いたします。

会期初日にはオープニングセレモニーが開催され、寛学長の式辞に続き、テープカットが行われました。

開催期間：2月12日（土）まで
会場：香川大学博物館展示室
入館無料

※休館：日・月曜日、祝日、
※2月11日：特別開催時間：午前10時～午後4時



オープニングセレモニー



博物館 篠原渉副館長（教育学部准教授）による展示解説



KADAIGEST 2022 1



団内コンサートを終えての集合写真、これが今代で最後の大きな演奏会でした



楽団の屋台骨、パーカッション 演奏の軸となるリズムを示します



メロディを彩るフルート・ダブルリードパート 可憐な演奏は大得意



舞台最後部で演奏を支えるブラス隊 華やかで力強い音色が特徴です



団員全員で一丸となった団内コンサート 2021



花形のトランペット 凛とした音でかっこよく演奏



毎年恒例金管アンサンブル14人での大迫力の演奏



2年生によるアンサンブル ディズニープリンセスメドレーで夢のような時間をお届けしました

香川大学 吹奏楽団

私たち香川大学吹奏楽団は、38人の団員で楽しく活動しています。活動場所である音楽系サークル共用練習室は、幸町キャンパス内の隠れ家のようなであり、アットホームな環境で日々の練習に励んでいます。
私の思う吹奏楽の楽しいところは、楽器を吹く楽しさはもちろんのこと、仲間と一つの音楽を創り上げ、それをお客様に届ける瞬間です。納得のいく演奏をするために何度も何度も練習し、仲間と支え合いながら創り上げた音楽を、楽しそうに聴いているお客様の笑顔を見ると、感動と達成感で胸がいっぱいになります。また、自分の奏でる音が仲間の音と合わさって会場に響き渡る高揚感、言葉で

は表現しきれないほどです。
残念ながら、昨年度に引き続き今年度も、新型コロナウイルスの影響でお客様の前で演奏することはできませんでしたが、限られた時間の中で一人ひとりが目標を持って取り組み、大学の講堂でミニコンサートが無観客にて行いました。例年は、サマーコンサートや定期演奏会に加えて、他大学との合同練習や依頼演奏など、幅広く活動を行っています。
香川大学吹奏楽団では、人数が少ないからこそ学年関係なく仲良くなることができ、自由に音楽を楽しむことができます。経験者の方も未経験者の方もぜひ、私たちと一緒に吹奏楽を楽しみませんか？

活動場所・音楽系サークル共用練習室
活動時間・月、木、土
部員数 ・38人
Twitter ・@kadaisuisou
Instagram ・kadaisuisou



入れ代わり立ち代わり演奏する「ぐるぐるマリンバ」今年で、やっと5人での演奏ができました
サークル歴3年 農学部3年 徳本真琳 兵庫県立加古川高等学校出身

WE ARE PIRATES WHO STEAL YOUR HEART.
 我ら心を奪う海賊団。
 GAME CHANGER - 創造的自由奔放集団 -



<https://gamechanger-bomb.com/new-project/>

本プロジェクトは、東かがわ市引田の造船所跡地にて、まちの人々との関わり合いの中で、全長10mの海賊船のオブジェを制作する一連の物語を生み出していくものだ。制作チームは、造形・メディアデザインコースの学生で構成し、個々の得意分野（映像制作、グラフィックデザイン、立体造形など）を生かしながら制作を進めた。

験した構図は、今もこのまちにあるのだろうか。この疑問は、まちの人々の繋がりを改めて確かめる必要性を感じさせた。その手段として選択したのが、ある日ふと思った「海賊になりたい」という無垢な野望に挑むことであつた。純粹で混じり気のない野望や夢は、あらゆる世代を夢中にさせられると期待したからだ。実践の結果、大きく立派で美しい海賊船が完成し、まちの人々の強くてユニークな繋がりのカタチが可視化された。プロジェクトは、制作場所探しや資材・資金収集から始めた。まちの人々に協力を呼びか

けると、多くの人々が制作場所や十分すぎるほどの資材を提供してくれた。資金収集にクラウドファンディングを用い、目標金額を優に越える40万1500円を集めることに成功した。自分たちのできる方法で情報発信を続け、活動は徐々にまち中で知られるようになっていった。真夏の猛暑の中でも、毎日のように誰かが造船所に訪れ、差し入れを置いていってくれた。ちょうど設計に困っていた時に、たまたま大工さんが訪れて、助言ももらったこともある。遊びに来る小学生たちの笑顔は、僕たちにエネルギーを注いでくれる。

まちの人々のあたたかさのおかげで、真夏の過酷な作業も乗り越えることができた。10月に開催した展示イベント「宴と出港」では、映像や照明制御などで海賊船をかざった。また、地元の飲食店や地元に住むDJの方とコラボし、イベントを盛り上げた。そこには目をきらきらさせる子供や、DJが奏でる音楽に体を委ねて踊る大人たちがいて、東かがわ市の全エネルギーが造船所に宿っているようだった。僕たちと東かがわ市の人々で創り上げてきたこの物語の美しさは、確かにそのパワーと繋

がりの強さを証明したと思っている。誰かが呟いた夢を媒介に、いろんな人が集まって、繋がりができていって、お互いに支え合うようになる。そして、何だか一生懸命にやっていたうちに、希薄化していた繋がりが世代を超えてまた現れていく。それは、思い描くべき地域社会の未来図であると信じている。いつかこの物語を聞いた誰かが、新しい物語を創り始める。このプロジェクトをきっかけに、そんなサイクルがこのまちにもたらされることを祈っている。

創造工学部3年 三谷なずな
 香川県立三本松高等学校 出身



GAME CHANGER メンバー 前列中央が三谷
 写真1 visual 2 資材提供 3~6 真夏の作業 7・8 イベント準備
 9・10・14 海賊船完成 11 舵をとる子ども
 12 帆に映写された映像を見つめる子ども 13 イベントに集まる人々